

事業概要

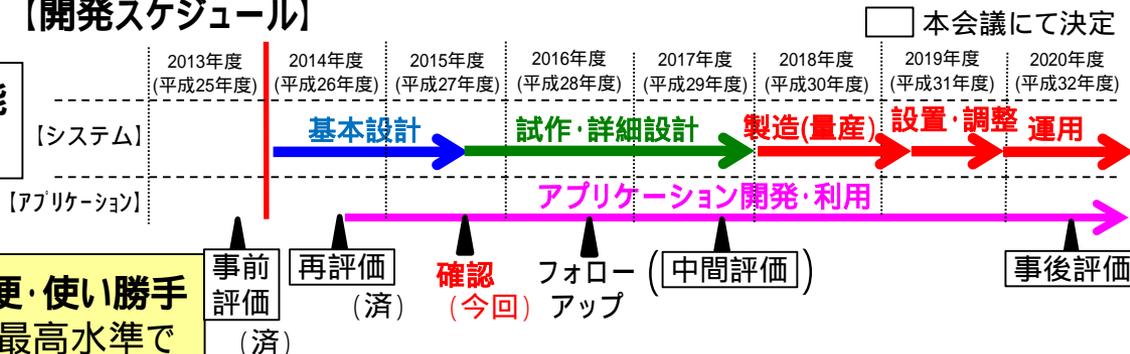
<実施期間>平成26(2014)年度～平成31(2019)年度 <予算額>国費総額:約1100億円

2020年をターゲットとし、幅広いアプリケーションソフトウェアを高い実効性能で利用できる**世界最高水準のスーパーコンピュータ**と、我が国が直面する課題の解決に資する**アプリケーション**を協動的に**開発**する。

開発目標

- 最大で「京」の100倍のアプリケーション実効性能
- 30～40MWの消費電力（「京」は12.7MW）

【開発スケジュール】



システムの特徴

消費電力性能、計算能力、ユーザーの利便・使い勝手の良さ、画期的な成果の創出を、それぞれ世界最高水準で備え、世界の他のシステムに対して**総合力で卓抜**するもの

評価経緯

：有益と認められた点 ×：指摘事項

事前評価（平成25年度）

我が国の競争力の源泉となる最先端の研究成果を創出する強力なツールであり、**国として主導的に開発に取り組むべき**。
 ×システム構成や工程表などを**早期に具体化**すべきであることから、**平成26年度に再度の評価**を行う。

再評価（平成26年度）

世界最高水準の汎用性のあるスーパーコンピュータの実現を目指すものであり、**意義・必要性は改めて認められる**。
 ×開発の意義、有効性を一般国民も実感できるよう、**アウトカムを更に具体化、明確化**すべき。また、製造段階を前に、
 ・平成27年度に文部科学省における**基本設計評価結果の確認**を行うとともに、
 ・平成28年度に**事前評価・再評価結果に対するフォローアップ**を行う。
 ・平成29年度には、文部科学省の中間評価結果を踏まえ、CSTIによる**中間評価**の実施要否を判断。

基本設計評価結果の確認（平成27年度）

開発目標の達成に向け、**基本設計の内容は概ね妥当**なものと認められる。
 ×エレクトロニクス電力消費量の増大に鑑みた**電力性能の向上、総合力を国際的に比較検証する方法の検討**に取り組むべき。